

製品価値評価法の研究事業

Study of Product value evaluation method

工藤洋司、舘山 大、伊藤 健、小松 勇

木村崇之^{*1}、玉田宏造^{*2}、境谷兼弘^{*3}、小形浩光^{*4}、田中弘子^{*5}

(^{*1} 合同会社わらはんど、^{*2} 株式会社カネタ玉田酒造店、

^{*3} 有限会社境谷自動車、^{*4} アンデス電気株式会社、^{*5} あおもり公共デザイン研究会)

農林水産物をはじめとする本県の一次産品は、様々な素材が一流品として注目されている。また、製造業においても技術開発に積極的に取り組み、特許等の工業所有権を取得している企業も見られる。しかし、良質の素材が有り加工や生産技術が向上しているにも関わらず、企業独自製品としての二次加工製品の商品開発がそれ程活発ではなく、工業系企業では大手企業のOEM製品の生産に留まっていることが多い。このため、本県の優秀な製品の価値を評価し、商品構成上不足な価値や高めるべき価値を見極め、商品化へ結びつけるものである。

